

お問い合わせ先 ゆたかや本店 茨城県常総市本石下 3054-5

電話：0297-42-2646

ファクス：0297-42-1777

「茨城県にはお遣いものにする、まともなお菓子が無い」。

きっかけは素朴な思いつきでした。もちろん土浦市のレンコンや水戸の納豆といった商品は一級品だし、食べても非常においしい。しかし、例えば茨城の人が他県へお邪魔したとき、胸を張って、しかもさりげなく相手の方々へ「粗品ですが」といって、差し出すことのできるお菓子は見あたらないのではないのでしょうか。茨城らしく、きどらず、飾らず、値段も東京の価格からすると驚くほど安い。それでいて観る人が観れば分かる。きらりと光るセンスのあるものを作りたいというのが当初の思いでした。

中身についてはもともと団子作りの経験から自信がありました。問題はそんな「職人の矜持」とか「頑固なこだわり」といったものをいかに「伝えたいのか」ということでした。いわゆるパッケージをどうするのか、という問題です。ただ企画会社やデザイン会社を東京に求めてしまうとやはり「垢抜けすぎる」きらいがあると思っていました。そこで、地元つくばの企画会社に相談することにしました。地元の業者なので気軽に打ち合わせを重ねることができました。またわざわざ模型まで作ってもってきてくれたり、地元ならではの泥臭い付き合いが始まりました。

「職人はねじれている」というのが企画会社の提案したコンセプトでした。納得できるまで作っては壊す、採算度外視で何かをゼロから作る、という職人の姿勢のことです。「そんなに費用ばかりかけて」やら「時間がかかりすぎる」やら言われます。しかし、いいものを作る、というのは一般世間の基準から外れているものです。そんな姿勢は確かにねじれているのかも知れない。また、とび職の「ねじりはちまき」のように職人のアイテムはどこかぎゅっとねじられていることが多い。そこで、そんな形をそのまま表現したらどうか、というのが当初のアイデアでした。

「ねじれている最中」。

そうすると、最中の皮の金型をそもそもオリジナルで作成する必要がありました。この商品は永らく定番商品にしたいという思いで企画していたので、金型職人も後継ぎがいて、ある意味永続的に付き合えるところを探す必要がありました。そもそも最中の金型を一から作るという作業自体珍しいことだったので。仕事上のつてを頼って、五、六軒ほど金型職人を回りました。パッケージの「ねじれもなか」の文字も地元の書家の方に頼みました。お菓子そのものがねじれているだけに、外見はやはり「流麗に」そして出来るだけ「シンプルに」という注文を出させていただきました。

団子屋さんとしての「ゆたかや」のロゴもこのために特別発注しました。使われているのはホンの一部ですが、やはり観る人が観れば分かる。団子に串がささって、それがゆたかやを表している、といった意匠です。

前口上を印刷した葉にもこだわりました。やはりこれだけの時間と労力を費やしたからには一言ごたくを述べておきたかったわけです。

形が整えば後は中身。最中とはシンプルなお菓子です。だからこそ素材選びが重要です。小豆としては最高級の北海道音更の豆だけを使用することにしました。もちろん普通の小豆より割高ですが、ここまで来たらやるしかない、といった勢いがありました。

「ねじれもなか」が世に出たのは平成二十一年の一月です。おかげさまで、一年半が経過しましたが、ねらいどおり定番商品に育ってくれています。茨城から他県に行く人たちが密かなプライドをもって、さりげなくお相手様に差し出すことができるお菓子。東京という大消費圏を隣に抱えてしまっているメリットが、逆に自分の県の商品自体をアピールする力を弱め、「ブランド化」を遅らせていると言われる茨城県。

そんな茨城の、そのまた田舎で孤軍奮闘中です。

ぜひ全国の皆様にご賞味いただければ幸甚に存じます。

和菓子 茶屋

いしげだんご
ねじれもなか

ゆたかや



平成の職人考
基本、職人ってのは
口よりも手え動かしてりや
いいんだ。
金融危機とか雇用不安、
そりゃ、今の世の中
生きづれえだろ。
だがよ、だったら
いつの時代が生き易す
かったんだい。
いつだって
手前の仕事がある
他人様の仕事がある
そして

誰の仕事でもねえ領域がある。
そんな誰もやらねえ処を
さっさとこなしちまうのが
職人ってもんだ。
他人に期待して待ってたって
バブルは二度と来ねえぞ。
そんなこと考えながら手え
動かしてたら、職人魂が
和菓子の姿をとった。
やっぱりどっかねじくれてんな。
まよ新商品
一銘
ねじれもなか。
およばずながら
孤軍奮闘中。

ゆたかや店主 中山忠男

本店

〒300-2707 茨城県常総市本石下3054-5
TEL 0297-42-2646
FAX 0297-42-1777

城下新石下店

〒300-2706 茨城県常総市新石下3935
TEL 0297-42-1414

MAIL dango@yutakaya.biz
HP www.yutakaya.biz